



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東
コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 裕紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,122	△9.5	△67	—	△88	—	△153	—
2024年3月期第1四半期	2,346	△19.8	8	△99.0	2	△99.7	△441	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △131百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 △439百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△5.37	—
2024年3月期第1四半期	△15.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	13,776	5,542	39.9	192.08
2024年3月期	14,148	5,668	39.7	196.29

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,498百万円 2024年3月期 5,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2025年3月期末配当予想は未定としております。

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	38.0	1,000	10.7	900	13.5	400	284.4	13.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	29,244,108株	2024年3月期	29,224,108株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	615,695株	2024年3月期	615,695株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	28,624,457株	2024年3月期1Q	28,506,875株

(注) 株式会社日本カストディ銀行(以下、「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式581,600株(議決権の数5,816個)につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年7月30日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IP×テクノロジーを軸に、エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運用を行っております。また、コンテンツ事業においては、IPの保有・育成を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売を行っている他、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,122,621千円（前年同期比9.5%減）、営業損失67,786千円（前年同期は営業利益8,487千円）、経常損失88,452千円（前年同期は経常利益2,328千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は153,628千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失441,807千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は以下のとおりです。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、新規自社配信タイトル『悪魔王子と操り人形』をリリースいたしました。運用中のモバイルゲームタイトル本数は10タイトルとなっており、複数のタイトルから安定的な収益を獲得しております。

売上高につきましては、受託開発案件の終了や前期にクローズしたタイトルの影響に加え、一部の運用タイトルが前年を下回る推移となったこと等により、前年同期比で減少いたしました。

利益につきましては、上記の減収要因に加え、当第1四半期に新規自社配信タイトル1本をリリースしたことに伴う費用の増加はございますが、前期に不採算であったタイトル2本をクローズしたことによる効果が上回り、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は2,034,614千円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は254,262千円（同7.7%増）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努める他、今後リリースする新規タイトルの貢献による売上、利益の増大を目指してまいります。

コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、IPの保有、育成、収益化を目的として出版・映像事業に取り組む中、ライトノベルレーベル「DREノベルス」とコミックレーベル「DREコミックス」から毎月刊行を実施しております。また、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用し、Web3領域における新たな事業開発や、SNSを活用したファンマーケティング支援サービス『Rooot』『Fanflu』、負荷テストサービス『Mx.Load』を提供しております。

売上高につきましては、「DREノベルス」に加え、昨年秋から「DREコミックス」の刊行を開始しており、シリーズ累計10万部を超える人気作品を複数輩出できていることから、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版・映像やWeb3などの新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しているため、損失額は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は90,906千円（前年同期比17.6%増）、セグメント損失は322,049千円（前年同期はセグメント損失227,531千円）となりました。当セグメントにおいては、中期的に目指す姿の実現に向け今後も投資を実施してまいります。

今後につきましては、ゲーム事業において、より強固な事業基盤を作るべく、運用タイトルへの追加投資や体制強化等を通じて長期安定的な収益の確保に努めるほか、新規タイトルのリリースによる売上成長、収益源の多様化・積層化を目指してまいります。また、ゲーム事業においてもIPを保有し育成することを目的として、PC・コンソール向けのオリジナルタイトルの開発を実施してまいります。

コンテンツ事業においては、IPを保有し育成・収益化することを目的として開始した事業を一定規模に成長させることを目指しております。また、新たな体験・市場を生み出す先進的なテクノロジーの活用を積極的に進めてまいります。

(注) 当第1四半期連結累計期間より、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「コンテンツ事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間末における流動資産は7,544,617千円となり、前連結会計年度末に比べ822,246千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が856,840千円減少したことによるものであります。固定資産は6,232,004千円となり、前連結会計年度末に比べ450,445千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが751,714千円増加及び、ソフトウェア仮勘定が306,778千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,776,621千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結累計期間末における流動負債は3,739,575千円となり、前連結会計年度末に比べ191,475千円増加いたしました。これは主に買掛金が12,899千円、未払金が46,653千円増加したことによるものであります。固定負債は4,494,416千円となり、前連結会計年度末に比べ437,782千円減少いたしました。これは主に長期借入金が434,650千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,233,991千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は5,542,629千円となり、前連結会計年度末に比べ125,494千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失153,628千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.9%（前連結会計年度末は39.7%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,937,126	5,080,286
売掛金	1,657,924	1,644,111
商品	7,990	7,031
仕掛品	44,689	51,667
前払費用	155,917	168,257
その他	563,215	593,263
流動資産合計	8,366,863	7,544,617
固定資産		
有形固定資産		
建物	191,229	191,229
減価償却累計額	△48,741	△53,122
建物(純額)	142,488	138,106
工具、器具及び備品	87,906	87,831
減価償却累計額	△68,350	△69,592
工具、器具及び備品(純額)	19,555	18,239
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△4,207	△4,482
リース資産(純額)	3,025	2,750
有形固定資産合計	165,068	159,095
無形固定資産		
ソフトウェア	18,279	769,994
ソフトウェア仮勘定	4,359,472	4,052,693
無形固定資産合計	4,377,751	4,822,688
投資その他の資産		
投資有価証券	69,926	69,926
繰延税金資産	650,038	599,198
敷金	199,404	199,404
その他	319,369	381,691
投資その他の資産合計	1,238,738	1,250,220
固定資産合計	5,781,559	6,232,004
資産合計	14,148,422	13,776,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	329,599	342,498
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,743,850	1,743,850
リース債務	1,281	1,281
未払金	604,044	650,698
未払法人税等	61,235	3,080
賞与引当金	86,949	41,478
その他	621,140	856,688
流動負債合計	3,548,100	3,739,575
固定負債		
長期借入金	4,627,300	4,192,650
リース債務	2,243	1,922
資産除去債務	100,000	100,000
その他	202,655	199,843
固定負債合計	4,932,198	4,494,416
負債合計	8,480,298	8,233,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,842,360	1,850,320
資本剰余金	2,099,521	2,107,481
利益剰余金	1,926,096	1,772,468
自己株式	△259,894	△259,894
株主資本合計	5,608,084	5,470,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,611	27,614
為替換算調整勘定	790	1,008
その他の包括利益累計額合計	7,402	28,623
新株予約権	49,067	42,357
非支配株主持分	3,570	1,273
純資産合計	5,668,124	5,542,629
負債純資産合計	14,148,422	13,776,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,346,198	2,122,621
売上原価	1,662,472	1,498,695
売上総利益	683,726	623,925
販売費及び一般管理費	675,238	691,712
営業利益又は営業損失(△)	8,487	△67,786
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	2,979	-
出資金運用益	3,345	-
その他	76	38
営業外収益合計	6,401	40
営業外費用		
支払利息	10,666	18,981
支払手数料	644	996
為替差損	-	156
その他	1,250	571
営業外費用合計	12,560	20,706
経常利益又は経常損失(△)	2,328	△88,452
特別損失		
減損損失	416,328	-
特別損失合計	416,328	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△413,999	△88,452
法人税、住民税及び事業税	19,942	22,959
法人税等調整額	7,038	41,571
法人税等合計	26,980	64,530
四半期純損失(△)	△440,980	△152,983
非支配株主に帰属する四半期純利益	827	644
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△441,807	△153,628

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△440,980	△152,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,977	21,002
為替換算調整勘定	△3	218
その他の包括利益合計	1,973	21,220
四半期包括利益	△439,006	△131,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△439,834	△132,407
非支配株主に係る四半期包括利益	827	644

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	73,989千円	39,406千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,268,870	77,328	2,346,198	-	2,346,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,268,870	77,328	2,346,198	-	2,346,198
セグメント利益又はセグメント損失(△)	236,019	△227,531	8,487	-	8,487

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「ゲーム事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において416,328千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,034,614	88,006	2,122,621	-	2,122,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,900	2,900	△2,900	-
計	2,034,614	90,906	2,125,521	△2,900	2,122,621
セグメント利益又はセグメント損失(△)	254,262	△322,049	△67,786	-	△67,786

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント名称の変更)

当第1四半期連結累計期間より、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「コンテンツ事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。